

ちゅうりっぷ通信

2018年 3月 第6号

春を待ちわびていたかのように、戸外遊びなどをいつも以上に楽しんでいる子どもたち。ほんのりと暖かい日差しが、今年度の残りの時間を包み込んでいくように感じます。残りわずかではありますが、子どもたちと楽しく過ごしていきたいと思います。

一年間、ありがとうございました

クラスでの生活も残りわずかとなりました。子ども達の成長を嬉しく思う反面、ちゅうりっぷ組が終わってしまう悲しさも感じられます。この一年は、心も体もぐんと大きく成長する一年でした。進級した頃は一人遊びが主だった子ども達も、今ではお友達と関われるようになり、楽しく会話をしながら遊べるようになりました。以前は保育士と一緒に遊んでいましたが、最近は子ども達同士で遊んでいる姿に成長を感じます。身の回りのことも「自分で！」という気持ちが強く、頑張っている姿が嬉しくなってきました。時々手を貸してしまうと、自分でやりたかったのに！と最初からやり直し最後まで諦めずに行う姿もあります。去年よりも行事に参加することが多くなり、お兄さん、お姉さんと楽しみながらたくさんの経験をしてきました。運動会、クリスマス会では頑張って堂々とする姿など沢山の成長を見せてくれました。毎日のノートのやり取りでは、保育園で遊んできたことを楽しかったとお家でお話している様子がたくさん見られ、一日一日楽しく過ごしてくれたんだなととても嬉しく思いました。今は進級することに期待を持ち、「もうすぐひまわり組さんのお姉さんになるんだよ！」と嬉しそうにお話している姿も見られます。残り一か月、楽しく一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。

保護者の皆様には、行事や日々の生活において様々な面でご協力を頂き、誠にありがとうございました。



「おおきなかぶ」楽しかったね！

子どもたちは絵本の「おおきなかぶ」が大好きです。ある日大好きな絵本のお話をみんなでやってみようという提案すると、パッと笑顔になりとても面白そうに興味を持ってくれました。なりたい役を自分で決め、いざ練習！「大きなかぶはぬけません。はあ〜」の所では子ども達同士の残念な気持ちを表していました。「ではかぶを引っ張ろう！」というセリフにはその後自然と「おー！！」とこぶしを上げる子ども達。そのアドリブはそのまま使わせてもらいました。最初の練習でかぶが抜けた時は、自然と子ども達から「やったー！」とピョンピョン飛び跳ねて喜ぶ姿がありました。お話の中に入り込んで楽しんで演じている子ども達です。保育参観では恥ずかしさもありましたが、終わった後に「楽しかった！」とお話する子ども達の姿が嬉しく思いました。

ひとりでできるよ！

★できるようになったこと

- ・脱いだ服をたたんで片づける
- ・うがいをする
- ・嫌いなものも少しずつ食べられるようになる
- ・ごっこ遊びが出来るようになる
- ・思いやりを持つ（玩具の貸し借り、いたわりの言葉）
- ・スリッパを後ろ向きにそろえて脱ぐ
- ・食べた食器を片づける
- ・友達と会話を楽しみながら一緒に遊ぶ
- ・数字や文字に興味を持つ
- ・簡単なルールを理解できる
- ・自分の名前の文字がわかる

☆今頑張っていること

- ・トイレや手洗いを順番に行う
- ・箸を使って食べる
- ・はさみで長い直線切りをする
- ・服の裏返しをなおす

